

記入例 離婚後に元妻から元夫に対して請求すべき^{あん}按分割合（年金分割の割合）
に関する審判を申し立てる場合

申立書を提出する裁判所

作成年月日

収入印紙 円		予納郵便切手 円		家事調停 申立書 事件名（請求すべき ^{あん} 按分割合）	
				審判	
この欄に収入印紙をはる。 （1件につき） 甲類審判 1,200円分 調停 1,200円分 確定証明書（審判の場合） 150円分 （はった印紙に押印しないでください。）				印紙	
準口頭		関連事件番号 平成 年（家 ）第 号			
○ ○ 家庭裁判所 御中 平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日		申立人（又は法定代理人など） の署名押印又は記名押印		甲 野 花 子 印	
添付書類		（審理のために必要な場合は、追加書類の提出をお願いすることがあります。） ☐ 年金分割のための情報通知書（各年金制度ごとに必要） ☐			
申立人	住所	〒 ○○○- ○○○○ ○○県○○市○○町○丁目○番○号		電話 ○○（○○○○）○○○○ ハイツ○○○○号室 （○○○○方）	
	連絡先	〒 -		電話 （ ） （ ）方	
	フリガナ氏名	コウ ノ ハナ コ 甲 野 花 子		大正 昭利 ○年 ○月 ○日生 平成	
	職業	○○○			
	相手方	住所	〒 ○○○- ○○○○ ○○県○○市○○町○丁目○番○号		電話 ○○（○○○○）○○○○ ○○アパート○○号室 （ ）方
相手方	連絡先	〒 -		電話 （ ） （ ）方	
	フリガナ氏名	オツカワ タ ロウ 乙 川 太 郎		大正 昭利 ○年 ○月 ○日生 平成	
	職業	○○○			

平日の日中に連絡のつく番号を記入してください（携帯電話でも構いません）。

裁判所から連絡がとれるように正確に記入してください。

住所で確実に連絡できるときは記入しないでください。

（注） 太枠の中だけ記入してください。

申立てに係る情報通知書の通数に応じて、「1」、「1, 2」、
・・・等と記入してください。

裁判所に提出する「年金分割のための情報通知書」には、
表面右上に「別紙1」、「別紙2」、・・・等と番号を付して
ください。

別紙1

年金分割のための情報通知書

按分割合（分割
割合）を上限で定
めることを求める
ときは、「□0.5」
の□にチェックし
てください。

それ未満の割合
を定めることを求
めるときは、「□（
）」の□にチェッ
クし、（ ）内に
具体的な按分割合
を記入してください。

法律婚（婚姻届
をした婚姻）を解
消したときは、「□
離婚」及び「□離
婚成立日」の□に
チェックしてくだ
さい。

事実婚（婚姻届
をしていない婚姻。
いわゆる内縁）を
解消したときは、
「□事実婚関係を
解消」及び「□事
実婚関係が解消し
たと認められる日」
の□にチェックし
てください。

申 立 て の 趣 旨	
申立人と相手方との間の別紙	1 記載の情報に係る年金分割についての請求すべき
按分割合を、	☒ 0.5 ☐ () と定める。
申 立 て の 実 情	
申立人と相手方は、共同して婚姻生活を営み夫婦として生活していましたが	☒ 離婚 ☐ 事実婚関係を解消 しま
した。	
申立人と相手方との間の	☒ 離婚成立日 ☐ 事実婚関係が解消したと認められる日 離婚時年金分割制度に係る第一号
改定者及び第二号改定者の別、対象期間及び按分割合の範囲は、別紙	1 のとおりです。
よって、申立ての趣旨のとおり	☒ 審 判 ☐ 調 停 を求めます。
(上記のほか、手続を進めるにあたって参考となる事情があれば、分かりやすく簡潔に書いてください。)	
審 判 確 定 証 明 申 請 書	
本件に係る請求すべき按分割合を定める審判が確定したことを証明してください。	
平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日	
申請人	甲 野 花 子 印

(注) 太枠の中だけ記入してください。 □の部分は、該当するものにチェックしてください。

上記確定証明書を受領した。	上記確定証明書を郵送した。
平成 年 月 日	平成 年 月 日
申請人 印	裁判所書記官 印

年金 (2/2)

審判に基づき年金事務所等において年金分割の請求手続をする場合には、審判書の謄
(抄) 本のほか、「審判確定証明書」が必要になります。審判の申立てに際して、あらかじ
め申請しておくことにより、審判の確定後に「審判確定証明書」が交付されます。